

執行総務任務内容

- 1 大会全般を統括し、円滑・安全な大会運営を維持することを主任務とする。
- 2 VIP（大会役員）の対応をおこなう。

執行副総務任務内容

- 1 執行総務を補佐し、執行総務が不在の際は、その職務を代行する。
- 2 大会役員及びVIP及び報道関係者等の対応を任務とする。
- 3 傷病者が発生し当番医（ ）に搬送された場合には、後方支援部長（執行副総務）は、速やかに当番医に出向き患者の状況を把握する。
- 4 会場周辺の状況等点検を行い、必要な指示を行う。

1.1 技術総務

- 1 ランナーが安全に且つ快適に走行できるようコースが正しく整備されているか確認する。関係資器材等の配置について事前に点検する。場外関係機材設置等（コース表示看板、距離表示看板、折り返し標識、関門の器具、器材等）の準備状況を点検する。
- 2 前日準備について
 - (1) 大会前日（土）09:00 千歳市スポーツセンター集合
 - (2) コース及び各種看板・標識の点検
 - (3) その他、大会総務を補佐する。
- 3 当日について
 - (1) スタート前にコース及び看板・標識の当日点検（08:00 までに終了）を行う。
 - ~~(2) 気象状況を07:00と08:00に測候所観測課=45-7712（繋がらない場合、予報課=45-7711）に問合せ、状況をDJブースと、スタート地点司会者に連絡する。~~
- 4 分担について
 - (1) フルマラソン担当
 - ア 人員(走路員、折り返し係、各給水係)器資材の配置の確認
 - イ 折り返し標識の設置及び確認
 - ウ 向陽台林道入口及び林道内並びに道々支笏湖公園線横断地点の施錠の開放確認
 - エ フルマラソン関門点に時計を設置する。（折り返し、22.5Km、36km地点）
 - (2) 17km担当
 - ア 人員（走路員、各給水係）器資材の配置の確認
 - イ 折り返し標識の設置及び確認
 - ウ 自転車道路遮断柱取外し及び復帰（孵化場前、道南建設前、仏舍利前）
- 5 執行総務との調整について
 - (1) 大会終了後の施錠
 - ア 公園内
 - イ 自転車道
 - ウ 自転車道路遮断柱復帰確認（孵化場前、道南建設前、仏舍利前）
 - エ 第7給水所ゲート施錠確認
 - (2) 道路規制解除通告（あいさつ）
 - (3) 会場の整理、資材返納
 - (4) コースの清掃
 - (5) タイムオーバー者の収容
 - (6) 役員収容バスの時間
 - (7) 最終運行（コース上の役員選手回収）バスの時間

6 特記事項

選手の先導について

(1) **ACCORD** (ホンダカーズ札幌中央・千歳店協賛)

運転手 (廣瀬・竹本)

(2) 日 程

大会前日 先導車確認

大会当日 08:00 青葉公園第2駐車場前スタート位置移動

08:40~ 17km選手先導(第2給水地点まで)

10:00~ フルマラソン選手先導(第2給水から自転車道まで)

自転車に引き渡し後、さけます孵化場前を通り、千歳春日保育園に駐車する。

1. 2 出 発 合 図

スタート地点に位置し、各種目のスタート時刻をスターターに合図し確実にランナーがスタートすることを目的として、配置される。

- 1 会場用具係からスターターピストル・火薬、耳栓等を受領する。
- 2 スターターの名前と種目を、**事前に確認し総務と詳細に調整する。**
- 3 スターターピストルは電子ピストルを使用、スターターピストルの不調の場合に備え、紙雷管ピストルの2セット準備する。
電子ピストルは小型スピーカーからの音が出る方式でスターター以外がスピーカーを首から下げてマイクで拡声する。
チーフはスタートライン状況を確認し合図をスターターに伝達する。
なお、チーフ以外の係がスターターピストル不発の場合は予備ピストルを即座に鳴らす。
- 4 トランシーバーを使い5分前からインター交差点の警察官（信号機操作）・走路第1班チーフと連絡を密に取りあい、ランナーをスムーズに交差点に進入させるよう連携する。
また、各ブロックのスタート30秒前に警察官（信号機操作）・走路第1班チーフに連絡し信号機及びヒューマンチェーンのタイミングを知らせる。
- 5 種目別スタート時間

スタート時間 08:40～ 17km（黄色）(No.カード：5001～7884) 09:40～ フルマラソン（緑色）(No.カード：1～3390) ※予備ゼッケン含む
--

各ブロック詳細については、別紙第44回千歳 JAL 国際マラソン 種目一覧のとおり

- 6 各ブロックスタート最後尾の通過後にはスタート線上にロープで規制を張り、遅れた選手が不正出走しないように徹底する。
例：制止を振り払ってランナーがスタートを切った場合交差点の走路1班チーフにすぐ連絡をして危険防止のため停止させ失格とさせる。

1.3 選手案内

スタート地点及び選手アップ場所（青葉陸上競技場）で、ランナーが確実にスタートできるよう誘導することを主任務とし、大会の円滑な運営を目的として配置する。なお、3kmのスタート規制、監察も兼務し10カ所に人員を配置する。

- 1 チーフは係員を掌握し、「会場用具係」から用具・昼食等を受領し、各係員と最終打合せを行う。
- 2 各種目スタート集合時間前に余裕をもって、ハンドマイク・笛等を使用し、ランナーを集合、整列させる。

17km・フルマラソンともに各ブロックのスタート時間15分前までにスタート場所に集合
各ブロックスタート集合時間及びスタート時間については、別紙第44回千歳JAL国際マラソン 種目一覧のとおり

スタート地点では3km小中学生は一斉スタート、フルマラソン・17km種目とも、ウェーブスタートとなるのでナンバーカードに記載されている種目ブロック毎に集合・整列するよう、ハンドマイク等を使用して誘導する。

※横入りなどのトラブル時の対応については周囲の話も聞き、威厳をもって対処する。

3km集合地点 小学生・中学生整列看板
フルマラソン看板
Aブロック Bブロック Cブロック Dブロック Eブロック
17km看板
Aブロック Bブロック Cブロック Dブロック Eブロック

※ブロックごとの整列となるが、自分のブロックに間に合わなかった場合については、後ろのブロックからのスタートは認めるが、自分の前のブロックに移動することは認めないため、間違っているランナーにはしっかりと自分のブロックに移動してもらう。なお、種目をエントリー時の間違い等言われても大会規則に則り、種目の変更は認めない

- 3 スタート時は混雑が予想されるので、ランナーを落ち着かせ平静な状態でスタートさせる。

4 近年エントリーもせず、ナンバーカード・ランナースチップが無いエントリー者以外が紛れているとの報告がある、そういったランナーは見つけ次第、即刻退場してもらう。

- 5 ランナーは必ず自分のブロックのスタート時間に間に合うように集合しなくてはならない。間に合わない場合には、同種目の次のブロックに並んでもらう。

なお、最終ブロック（E）のランナーが間に合わなかった場合については出走不可とする。

※例：17kmのEブロックランナーが遅れたからと言って、フルのAブロックからの出走は認めない。また、各種目のEブロックランナーが出走時間に間に合わなかった場合は、出走不可とする。

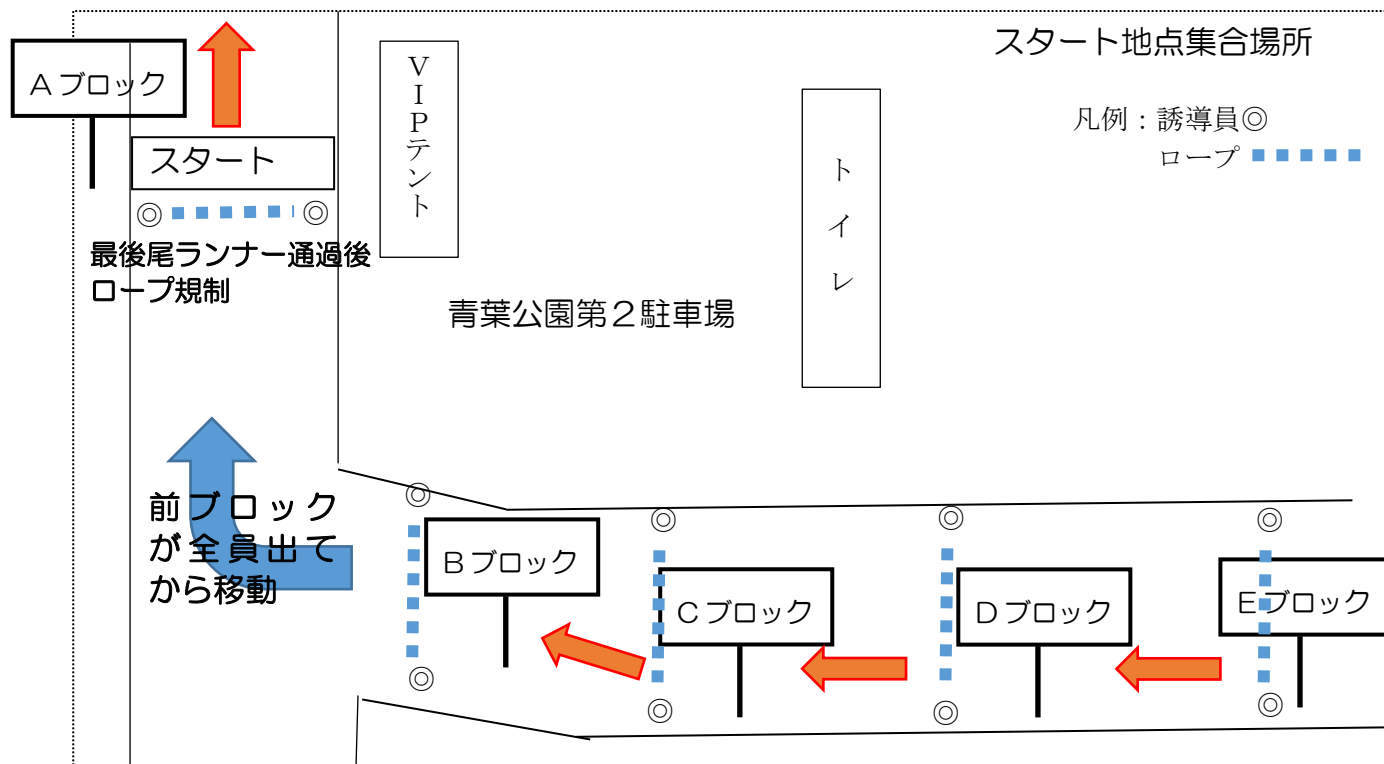
- 6 今回、陸上競技場はウォーミングアップ会場として随時開放をする。

また、スタート地点集合10分前にスタートブロック集合時間をマイクで放送案内して周知する。

- 7 スタート地点では選手案内係員は「A～Eブロック」の手持ち看板（フル・17km2種類）及び

ハンドマイクで統制する。※ナンバーカードのデザイン（色）・No.を確認し選別

- 8 スタート位置に集合する各ブロックの先頭列にロープで規制を張り、前のブロックがスタート後にロープを張ったままスタートラインまで誘導する。
- 9 全種目のスタートの完了後、各役員は物品等を返納し任務終了となる。



17 km マラソン	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック
移動アナウンス (青葉陸上競技場)	08:15	08:25	08:35	08:45	08:55
スタート地点 集合	08:25	08:35	08:45	08:55	09:05
スタート時間	08:40	08:50	09:00	09:10	09:20

フルマラソン	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック
移動アナウンス (青葉陸上競技場)	09:15	09:25	09:35	09:45	09:55
スタート地点 集合	09:25	09:35	09:45	09:55	10:10
スタート時間	09:40	09:50	10:00	10:10	10:20

- 10 3km小中学生スタート時については100mトラックのスタート地点に集合させ、小学生レーン・中学生レーンに分けスタートさせる。
- 11 スタート5分前には陸上競技場でアップしているランナーをトラック外で待機してもらうよう、案内をかける。
- 12 3kmスタート前に別紙コース図のとおり青葉公園内といろは坂・おはよう橋に監察係を配置させ、子供たちが迷わないように誘導させる。また、コース上に人が居る場合は排除しランナーを優先させる。

役員配置表

ポストNo.	配置場所	人数	氏名 (携行品)	備考
①	陸上競技場出口	1		
②	中央広場駐車場前	1		
③	市民球場前	1		
④	ラグビー場入口	1		
⑤	ラグビー場出口	1		
⑥	冒険の森前	1		
⑦	<u>いろは坂入口</u>	1		
⑧	<u>いろは坂中腹</u>	1		
⑨	いろは坂中腹	1		
⑩	<u>おはよう橋中間ベンチ</u>	1		
合計		10		

※ 配置図は、別図参照

- 13 最終ランナーが通過後、監察係はコースを逆走し陸上競技場に戻りチーフの指示により選手案内係の任務に就く。

1. 4-1 場内整理

- 1 スポーツセンター周辺（特にフィニッシュ付近）において、大会が円滑・安全に運営できるようランナー・応援者、来場者の通路及び導線の確保と整理をおこなう。
- 2 陸上競技場～クラブハウス交差点付近～フィニッシュ付近～多目的広場までの緊急車両の経路確保及び歩行者の誘導と通行車両の交通統制を実施する。また、会場整理、進入・退出指定車両の誘導を警備員と協力し行う。大会中は緊急車両・自衛隊車両・役員及びリタイア、収容者用バス（通行証掲示）の指定車両のみ進入・退出させる。
- 3 スタート前フィニッシュ後は、大変混み合う時間帯があるので、逐次交代で巡回を行う。
※プール管理棟の男女更衣室は運営役員ボランティアの荷物置き場とする。
- 4 観衆、ランナーが混在する地域があるので、協力依頼及び事故防止に努めフィニッシュ付近及び緊急車両経路の安全を確保する。観衆、ランナーの理解・協力を得るため言動には十分注意を払う。
苦情等があっても謙虚な態度で臨み、協力を依頼し無用なトラブルをさける。係員自身も含め、事故防止には万全の注意を払うこと。
- 5 来場者等の動向に注意し、明確・厳格な態度で整理を行う。
- 7 突発的事案・災害等により大会が中止する場合は、事務局からの指示があるので冷静沈着に会場内の人員に誘導・案内を行う。この際、警備員との協力・連携を重視する。
- 8 解散（任務終了）時期については、チーフは状況を見て逐次要員を縮小し、17：30 最終シャトルバスが出発後解散する。 ※ 別紙「場内整理係配置図」参照
- 9 配置場所及び個別任務（配置手段は全て徒歩で実施）

配置ポイント	個別任務及び注意点
チーフ	全体の状況を把握し、的確に指示を行う。勤務時間が長いので、適宜休憩させる。
P①	スポーツセンター周辺（特にフィニッシュ付近）で、ランナー・応援者、来場者を整理する。また、07：30～多目的広場入口付近で、給水所に向け出発するトラック及びバスが安全に通行できるよう誘導を行う。 終了後、会場を巡回し、ランナー・応援者、来場者を指導・整理する。
P② ～ P③	06：30以降、スポーツセンターからスタート地点方向に向かうランナーの誘導を行う。また、フィニッシュ付近で応援者等がランナーと交錯しないよう、 <u>進入・退出指定車両の誘導を警備員と協力し行う</u> 。なお、大会中は緊急車両・自衛隊車両・役員及び収容者用バス（通行証掲示）の指定車両のみ進入・退出させる。
P④	クラブハウス交差点付近に位置し、往來の来場者、ランナー等を誘導する。 10：30以降クラブハウス交差点に進入するタクシーの誘導及び多目的広場まで進入・退出する指定車両の誘導を警備員と協力し行う。なお、大会中、多目的広場まで進入できる車両は、緊急車両・自衛隊車両・役員及び収容者用バス（通行証掲示）のみとする。
P⑤ ～ P⑥	06：30以降、スタート地点に向かうランナーの整理・誘導を行う。

1. 4-2 場内整理（図書館周辺対応係）

- 1 図書館周辺（特に駐車場、ロータリー付近）において、大会が整齊と運営できるよう来場者・車両を整理することを主任務とする。
- 2 図書館駐車場及びロータリー周辺における歩行者の誘導と通行車両の交通統制を実施する。
- 3 図書館駐車場は図書館利用者用として環境整備組合が管理しているが、このうち入り口側の20台分を当マラソンVIP用駐車場として利用許可を得ている。なお、大会当日青葉公園は占有許可申請をしていることから、公園利用者は駐車出来ない。
また、シャトルバス乗降場付近での自家用車での乗降は禁止となっているので注意する。
- 4 VIP対象は、市長等大会役員・11 普連長や医師等となる。図書館下交差点で委託警備員が図書館利用者とVIP対象者のみ通過させるので、大会役員証又は通行証で確認のうえ駐車させる。
※なお、公民館勤務者に対しても図書館駐車場を案内している。
- 5 VIP駐車時間は7時00分から16時00分までを原則とする。
※ただし、大半が当初スタート地点に直接向かい、スタートがすべて終了後の10:20以降から来る可能性が大きい
バス・タクシー乗降場はロータリー付近であるが、タクシーについては10:30以降はクラブハウス交差点に変更となる。
- 6 図書館利用者は、VIP駐車場以外の駐車場に誘導する。
なお、図書館利用者を装い駐車する参加者等については速やかに指定駐車場へ移動するように注意する。その際にはトラブルにならないように言動に気を付け対処する。
- 7 ロータリー付近は、シャトルバス、路線バス、図書館利用私有車、歩行者／自転車が混交するので、速やかな誘導に努める。なお、10:30からの千歳駅～住吉臨駐行きシャトルバス乗り場への利用者の誘導を行う。
- 8 通行車両及び歩行者の理解と協力が得られるよう言動には十分注意を払う。
苦情等があっても謙虚な態度で臨み、協力を依頼し無用なトラブルをさける。
- 9 係員自身も含め、事故防止には万全の注意を払うこと。
- 10 整理する際は、大きなジェスチャーと厳格な態度で明確に意思表示を行う。
- 11 突発的事案・災害等により大会が中止する場合は、事務局からの指示があるので冷静沈着に会場内の人員に誘導・案内を行う。この際、警備員との協力・連携を重視する。
- 12 解散（任務終了）時期は、10:30以降チーフはロータリーの混雑状況を見て逐次要員を縮小し、17:30最終シャトルバスが出発後解散する。

※ 別紙「場内整理係配置図」参照

1.5 選手先導

- 1 係員の集合後、次の確認をおこなう。
 - (1) 係員の掌握
 - (2) 装備、備品の点検・確認（車両、ヘルメット、先導用ベスト等）
 - (3) 分担区間の確認
- 2 勤務要領
 - (1) チーフの指示で 08:00 までに各自のポイントに移動、待機
 - (2) 各種目、トップランナーの 30m～50m 前を走行
 - (3) 先導するトップ集団が他の種目の最後尾ランナーを追い越す際は、トップ集団がスムーズに走行しやすいよう走路の確保に努める。
- 3 管理事項
 - (1) チーフは係員の集合を確認後、昼食を受領
 - (2) コース上の関係役員と連携し、事故防止に細心の注意を払う。
 - (3) チーフは事前に試走するなど道路の注意ポイント、危険箇所等の把握に努める。
 - (4) サイクリングロードを先導中、可能であれば先導車の 30m 前で追いつかれるランナーを左側に寄せて、トップランナーがスムーズに走れるよう規制する。
また、おはよう橋からフィニッシュの間は、遅いランナーは左側通行とする。
 - (5) フルマラソン先導車（バイク）は、烏柵舞交差点で **ACCORD** に引き継いだ後、第 2 グループの先頭を支笏湖公園線横断地点まで誘導する。
- 4 種目別スタート時間

スタート時間
08:40～ 17 km（黄色）（No.カード：5001～7884）
09:40～ フルマラソン（緑色）（No.カード：1～3390）
※予備ゼッケン含む

※ 先導自転車はフィニッシュまで進まず
青葉橋公園橋手前の停止位置
（看板設置）までとする。

※ 千歳寺の前付近

先導区間割当


種 目	先導車区分	割 当 区 間
フルマラソン	バ イ ク	スタート地点からフル折返し及び第 2 給水所経由し、道道支笏湖公園線横断地点まで。
	先導車両 自 転 車	第 2 給水所から道道支笏湖公園線横断地点まで。 <u>道々支笏湖公園線横断地点からサイクリングロード～フィニッシュ手前停止位置迄（青葉公園橋に入らない）</u>
17 km	先導車両 バ イ ク	スタート地点から第 2 給水所まで。 第 2 給水所から道々支笏湖公園線横断地点まで。
	自 転 車	<u>道道支笏湖公園線横断地点からサイクリングロード～フィニッシュ手前停止位置まで（青葉公園橋に入らない）</u>

1.6 移動監察及び後走

- 1 監察係はコース内の参加者・役員の安全を監察し、各給水所及び各所の待機車と役員との連絡を密にし、迅速な対応で事故等を未然に防止、または最小限にとどめる。
また、係員は、チーフの指示のもと協力して任務にあたり、交通事故及びその他の事故防止には万全の注意をはらう。
- 2 監察車は2・4・10・11号車は自転車、それ以外はスクーター
最後尾に付く後走車は必ずフィニッシュ手前までランナーの後方を走行し、各給水所・関門等の役員に当該者が最終ランナーである旨を宣告する。
他の区間・走者に付く係員は、事故者(棄権者・走行不能等)に注意し、最寄りの係員及び給水所救護係に通報する。
また、フィニッシュまで追走する後走車は、青葉公園橋を渡らず、青葉公園橋入口位置(看板設置)でコースから離脱し、フィニッシュを通過せず手押しで歩行者用通路を使用し帰着する。
- 3 AED携行の監察係は、緊急を要する患者に遭遇又は情報を入手した際は、最寄りの給水所救護係と接触し、連携要領を確認し連絡し合い現場に急行、必要な場合にはAEDにより救急処置を行う。
※ 傷病者を発見し通報する場合は、複数情報による錯綜防止のために、必ず傷病者のナンバーカード番号及び症状等を通報する。
- 4 アルミックシートを配布するので、必要に応じて活用する。
- 5 搬送患者及びリタイア者に対しては、RCチップ及びナンバーカードから完走Tシャツ引換券を切り取り収容車到着後搭乗させる。回収したRCチップ及び完走Tシャツ引換券は帰着後本部に提出する。
※ナンバーカード及びRCチップを装着しないで走っているランナーを見つけた場合には即刻走ることを中止し、次の給水所で待機させ、リタイア者収容車で回収する

※ 予備の燃料は、第2・4・5・6給水所に配備する。
- 6 各スクーターの任務終了後にスポーツセンター本部に帰着する経路は、図書館又は青葉球場経由とする。(16:20フィニッシュ閉鎖後は、青葉公園橋を通過できる。)
- 7 チーフは係員を掌握し、会場用具係から必要資材及び昼食等を受領する。

業務内容 [移動監察 (スクーター、自転車)]

車 号	担 当 区 間	担当者
1号車 スクーター ※AED	フルマラソンスタート後(10:20)最終ランナーを22km関門地点(13:35)まで追走 終了後、コースを逆走し、傷病者・落とし物が無いかを確認し、本部へ戻る。	
2号車 スクーター ※AED	1号車と共に最終ランナーを追走し、アクシデントに備える。 22km関門まで追走したあと、6号車を追い6号車と共に最終ランナーを林道出口まで追走する。	
3号車 スクーター ※AED	第2給水所を起点に17kmマラソンは第1給水所・林道出口方向の監察を行う。フルマラソンにおいては第1・3給水所方向及び林道出口方向の監察を行う。 最終ランナーが第2給水所を通過後、第1給水所経由で本部へ戻る。 	
4号車 スクーター ※AED	第3給水所を基点に第2給水所・フル折り返し地点・第4給水所方向の監察を行う。最終ランナー通過後、第2給水所へ行き3号車と協力して監察を行う。	
5号車 スクーター ※AED	第5給水所を基点に第4給水所方向及び第6給水所方向の監察を行う。最終ランナー通過後コースを逆走し、傷病者・落とし物が無いかを確認し、本部へ戻る。	
6号車 スクーター ※AED	フル折り返し地点(22km関門)で待機し、時間内(13:25)に通過した最終ランナーを林道出口まで追走する。 林道出口で9号車(自転車)に引継ぎ、第2給水所から第1給水所経由で本部に戻る。	
7号車 スクーター ※AED	第5給水所から第6給水所の間点を定位置として第5・6給水所間の巡回監察 最終ランナー通過後支笏湖公園線経由で本部に戻る。	
8号車 スクーター ※AED	第6給水所から第2給水所の間点を定位置として第6給水所から第2給水所間の巡回監察 最終ランナー通過後7号車と共に支笏湖公園線経由で本部に戻る。	
9号車 自転車	林道出口からフルマラソン最終ランナーを6号車から引継ぎ追走、ランナーが36km 関門地点を15:20までに通過の場合そのまま追走。 36km 関門時間超過の場合、10号車が関門閉鎖後最終ランナーを追走するので、36km 関門まで追走ランナーの対応にあたる。 その後10号車を追いかけ合流後ランナー対応にあたる。	
10・11号車 自転車	第7給水所周辺の監察を行い15:00までに36km関門に移動し、関門通過の最終ランナーを青葉公園橋まで追走する。 兼務として、3kmマラソンの後走を行う	

スクーター6(7)台運用の場合には、12号車及び13号車(下線表示)を削除し、その任務を6号車及び8号車が兼務する。

1.7 走路〔共通〕

- 1 ランナーが安全・快適に走行できるようにコースを確保することを主任務とし、円滑な大会運営を目的として配置する。

併せて、近年ナンバーカード、ランナズチップが無いエントリー者以外のランナーが紛れているとの報告があるため、そういったランナーについては見つけ次第、退場してもらう。

- 2 主要交差点に配置される警察官、警備員の指示に従うこと。
- 3 運営役員及び警備員との相互の連携を保ち、沿道の観客の整理、一般車の誘導・停車の協力依頼等を積極的に実施する。

4 セーフティーコーンの設置、移動、撤収等の実施注意事項

- (1) 自身も含め交通事故の防止に、万全の注意を払うこと
- (2) 本大会が、成功裡に終了するには、沿道市民及び一般ドライバーの全面的な協力と理解が不可欠であるとの認識を持ち、言動には十分注意し苦情等にも謙虚な態度で臨み、無用なトラブルを避ける。
- (3) 係員はランナー及びレースに見入らず、ランナーの状態及び車両・観衆の動向全般に注意する。
- (4) 人員・車両を誘導又は停止させる場合は、大きなジェスチャーで明確に意志表示をすること。
- (5) セーフティーコーンとコーンバーで、ランナーをコースに確実に誘導する。また、ランナーがコースを間違えないように適切に人員を配置し、誘導する。
- (6) 事故等が発生時は、迅速に隣接の係と連携し、最寄りの警察官に明確に通報する。また早期に「チーフ」及び「大会本部」に連絡する。
- (7) 患者発生時には、冷静沈着に患者の状況（意識・呼吸・脈拍の有無）を観察し、大会本部の救急対応係（電話不通時には事務局）に連絡する。移送の必要がある場合には併せて輸送支援を要請する。
この際、ランナーのナンバーカード番号、意識の有無、現在地及び走路係（通報者）の氏名、携帯電話番号を通報する。また、スタッフジャンパー、タオル等で保温し、声掛けする等ランナーの状態に留意する。救急車又は総務車両の到着時は誘導する。
※搬送患者及びリタイア者に対しては、RCチップ及びナンバーカードから完走Tシャツ引換券を切り取り収容車到着後乗車させる。回収したRCチップ及び引換券は帰着後本部に提出する。
- (8) 各班の担当区分を次のとおり定める。

ア 第1班：スタート位置から真町泉沢大通り

集合時間 7：30

集合場所 青葉公園第2駐車場 スタート地点

※ ポストの指定及び人員の配置は、チーフに一任する。

イ 第2班：市道泉沢林道から道々支笏湖公園線に至る林道内全域

集合時間 07：15

集合場所 スポーツセンター自転車置場横

※ ポストの指定及び人員の配置は、チーフに一任する。

ウ 第3班：道々支笏湖公園線出口からフィニッシュまでのサイクリング道路

集合時間 07：15

集合場所 スポーツセンター自転車置場横

※ ポストの指定及び人員の配置は、チーフに一任する。

5 道路横断時における留意事項

インター線横断し向陽台泉沢大通（走路1班）、烏柵舞林道からサイクリング道路への横断地点（走路2班担当）及び仏舍利地点でのサイクリング道路横断地点（走路3班担当）に配置された走路係は横断規制時、警察との連携を密にし、無断での横断が無いよう強い意志をもって統制する。

また、チーフは必ず横断地点に位置し、走路係の統制要領を指導する。事故等でランナーが受傷した場合、大会が「中止」となることから、任務が重大なことの認識を全員に徹底する。

6 コースへの無許可侵入者について

国有林野内の入林は、森林管理署の許可が必要である。大会関係者以外のコース内侵入者は、退去するよう促す。円滑な大会運営に協力してもらう為に直ちに国有林野内から退去するよう求める。

7 競技終了後は、セーフティコーン、コーンバー、看板等は撤収してコース上の回収しやすい場所に1ヶ所又は数ヶ所に集積する。

走路 第1班勤務要領

1 担当区域 青葉公園内及び真町泉沢大通り

2 担当人員 チーフ・ 大西正起 ほか 52名

3 配置手段 徒歩

4 任務内容 ランナーの走路誘導及び千歳インター線安全確保
チーフは、ランナー横断箇所での出発合図係・警察官と連携して、ハンドマイクでランナーに対し注意を喚起する。

① 選手制御係1

- ・ 事前に立ち位置の印をつけておくので、選手横断時には、その印を目安に交差点において車の進入を防ぐため人の壁を作る。
- ・ インター交差点横断中に道路左側の緊急車両専用道に選手がはみ出さないよう人の壁を作り制御する。
- ・ 各ブロック最後尾ランナー通過後、選手制御係1はブロックスタートに遅れた選手が道道千歳インター線を通過しないように人の壁で横断地点を遮る。

② 選手制御係2

- ・ インター線横断後の真町泉沢大通りのコースと緊急車両専用道の間に位置し、選手がコースをはみ出した場合、即刻コース内に戻るよう指示する。
- ・ 係員と係員の間は約100mとする。セーフティコーンが約15mおきに設置されているので参考にされたい。

5 役員配置表

ポストNo.	配置場所	人数	氏名	備考
①	インター交差点道路横断口	16		徒歩
②	真町泉沢大通線	36		徒歩

6 チーフは、トランシーバーを使い5分前から出発合図係・インター交差点の警察官（信号機操作）と連絡を密に取りあい、ランナーをスムーズに交差点に進入させるよう連携する。

また、各ブロックのスタート30秒前に警察官（信号機操作）及びヒューマンチェーンのタイミングを知らせる。

ランナー横断箇所では警察官・警備員と連携して、ハンドマイクでランナーに対し注意喚起する。
注意喚起内容は、警察官と事前に調整し構成する。

走路 第 2 班 勤務 要 領

- 1 担当区域 市道泉沢林道から道道支笏湖公園線に至る林道内全域
- 2 担当人員 チーフ・ 後藤 正人 ほか 77名
- 3 配置手段 役員配置用車両（大型バス等）による。
- 4 任務内容 ランナーのコース確保に主眼を置き、円滑な大会運営に貢献する。
- 5 フル先頭と17km最後尾がバッティングしないようにポイント②～③の係は17kmのEブロックが走って来た所で右側通行を促し、フル先導バイクをスムーズに進行させる。
- 6 ④は17km及びフルランナーが進行方向を間違わないように誘導する、
- 7 フルの第2折返し区間の約（300m）にコーン及びコーンバーを道路中央に移設して規制コースを造成する。コーン等の設置間隔はチーフの判断による。（コーン及びコーンバーは道路脇に配分済）
また、フルの最終ランナー折返し後、道路中央にあるセーフティーコーン及びコーンバーを道路脇数ヶ所に移動集積する。
- 8 コース上に患者が発生した場合に大会本部に急報して救護の出動を要請する。この際、患者のナンバーカード番号、性別、意識、呼吸、脈拍の有無、通報者の氏名、携帯番号を通報する。
- 9 チーフは、ランナー横断箇所で警察官と連携して、ハンドマイクでランナーに対し注意喚起する。
注意喚起内容は、警察官と事前に調整し構成する。

10 役員配置表

ポストNo.	配 置 場 所	人数	氏 名 (携行品)	備考
①	市道林道入口（向陽台）	2		
②	養魚場入口	10		
③	作業場入口（川の降り口）	10	（キャップガン）	
④	烏柵舞十字路	15		
⑤	烏柵舞第一林道入口	3		
⑥	第3給水所手前T字路	3	（熊撃退スプレー） （キャップガン）	
⑦	<u>14km地点</u>	3	（キャップガン）	
⑧	<u>20km地点</u>	4	（熊撃退スプレー）（キャップガン）	
⑨	第5給水所前三叉路	3	（熊撃退スプレー）（キャップガン）	
⑩	<u>25km地点</u>	3	（キャップガン）	
⑪	<u>北五条との交点</u>	3	（熊撃退スプレー）（キャップガン）	
⑫	フル300m折り返し	3	（キャップガン）	

⑬	道道支笏湖公園線道路横断口	15		
合計		77		

※ 配置図は、別図参照 人数は44回的人数

走路 第3班勤務要領

- 1 担当区域 道道支笏湖公園線出口からフィニッシュまでの自転車専用道路
- 2 担当人員 チーフ・ 小川 忠治 29名
- 3 配置手段 徒歩（基本）
- 4 任務内容 ランナーが安全に正しくコースを走行するための誘導
- 5 チーフは、ランナー横断箇所では警察官と連携して、ハンドマイクでランナーに対し注意を喚起する。
内容は、警察官と調整し放送する。
なお、横断歩道終わり口にヒューマンチェーンで赤信号時に横断を阻止し、信号無視のランナーを失格とさせる。
- 6 コース上に患者が発生した場合に大会本部に急報して救護の出動を要請する。この際、患者のナンバーカード番号、性別、意識、呼吸、脈拍の有無、通報者の氏名、携帯番号を通報する。

7 役員配置表

P	配置場所	人数	氏名	備考
①	道道支笏湖公園線と自転車道の分岐点			
②	さけます孵化場出入口			
③	さけます孵化場の駐車場出入口			
④	第一烏柵舞橋を渡った右折点			
⑤	第7給水所通過地点1Km			
⑥	千歳桂病院出入口			
⑦	千歳桂病院出入口手前の引込道路			
⑧	名水ふれあい公園手前のカーブ			
⑨	ノースカントリーゴルフ場先のコース			
⑩	バイク店の道路出入口			
⑪	新屋2丁目道路出入口			
⑫	蘭越生活館前の道路出入口			
⑬	市内バス出口			
⑭	仏舍利塔下の押しボタン式信号付近	5		
⑮	桂木2号公園前の自転車道路			
⑯	高速道路高架下の自転車道路			
⑰	桂木3号公園前の自転車道路			
⑱	桂木4号公園前の自転車道路			
⑲	林東公園出入口付近			
⑳	おはよう橋出入口付近			
㉑	大和公園前			

	千歳寺前			
②③	42km地点付近			
合計				

※ 配置図は、別図参照

1.8 折り返し（フルマラソン）

1 着意事項

折り返し地点はコースが狭いのでランナーの安全走行に配慮し、統制しながらランナーを誘導し安全を確保する。

チーフは、適切な指示が必要となるので、動向を監視しレースに見入らず、走臨機応変に対処する。また、苦情等にも謙虚な態度で対応し、言動に注意し無用なトラブルを避ける。

2 準備事項

- (1) 係員の掌握
- (2) 備品、資材等の確認
- (3) チーフは「会場用具係」から資材及び昼食等を受領する。

3 勤務要領

- (1) チーフは係員を掌握し、役員配置用バスに乗車し移動する。（移動方法は別途調整する）
- (2) フルマラソンの第1折り返し区間の約700mにセーフティーコーン及びコーンバーを設置。往路・復路を区分し、ランナーの接触等の危険を防止する。（コーン等の設置間隔はチーフの判断による。コーン及びコーンバーは道路脇に配分済）
- (3) 任務終了後は、役員収容バスを待って乗車する。（別途調整）
- (4) 傷病者を発見し通報する際には、情報の錯綜による対処遅延防止のため、必ず受傷地点、傷病者のナンバーカード番号及び症状等を通報する。

※ ナンバーカード、ランナースチップが無いエントリー者以外のランナーが紛れているとの報告が近年あるため、そういったランナーについては見つけ次第、退場してもらう。

1. 9 関門

- 1 関門地点に位置し、時間内不通過のタイムオーバー者を停止させ、コースから排除する。
なお、関門地点の距離はフル第5給水所地点、36km(第7給水所手前)地点、約39km地点の3カ所。17kmは約13km地点に設置する。
- 2 チーフは、7:00までにスポーツセンターアリーナ内の会場用具係から、**資材等**及び係員分(技術総務を除く)の記念品・弁当等を受け取る。
- 3 関門閉鎖時間
閉鎖時間が迫ってきたときは、関門まで200~300メートルの間に選手がいないか注意する。選手が走っている場合は激励の意味を込めて大声で閉鎖時間が迫っていることを告げる。
(1) 第5給水地点(約22km地点) **13:35** フルマラソン 3時間25分
(2) 36km関門地点 15:20 フルマラソン 5時間00分
(3) 17km
3時間以内での完走を想定して、途中の関門は設けない。ただし、3時間以内で完走できないと判断される場合等は、安全管理・大会運営上に支障があり途中で競技中止するので、係員の指示に従わせる。
- 4 勤務要項
(1) 関門地点で、関門時計の作動状況を確認する。(前日に技術総務が点検済み)
(2) 住宅地にある関門地点は、車両の出入りに留意して、ランナーを誘導する。
(3) 関門閉鎖後はタイムオーバー者を確実に、待機している収容車に乗車させる。
また、収容者の、RCチップ及びナンバーカードから完走Tシャツ引換券を切り取り収容車到着後乗車させる。
回収したRCチップ及び引換券は帰着後本部に提出する。
※ 前回までにタイムオーバーで関門に走行停止されたハーフのランナーはいません。
(4) 患者発生時には、冷静沈着に患者の状況(意識・呼吸・脈拍の有無)を観察し、大会本部の救急対応係(混んでいる場合には事務局)に連絡する。移送の必要がある場合には、輸送支援を要請する。
この際、情報の錯綜防止のため、ランナーのナンバーカード番号、意識の有無、現在地及び走路係(通報者)の氏名、携帯電話番号を通報する。
また、対処車両到着までスタッフジャンパー、タオル等で保温し、声掛けする等ランナーの状態に留意する。救急車又は総務車両が到着したならば誘導する。

第 関門 地点収容者確認表

No. 1

No.	時刻	ナンバーカード番号	氏名	性別
1	:			男・女
2	:			男・女
3	:			男・女
4	:			男・女
5	:			男・女
6	:			男・女
7	:			男・女
8	:			男・女
9	:			男・女
10	:			男・女
11	:			男・女
12	:			男・女
13	:			男・女
14	:			男・女
15	:			男・女
16	:			男・女
17	:			男・女
18	:			男・女
19	:			男・女
20	:			男・女
21	:			男・女
22	:			男・女
23	:			男・女
24	:			男・女
25	:			男・女

1. 10 フィニッシュ係

1 フィニッシュランナーをフィニッシュゲート付近に滞留させないように誘導し、接触等の事故防止に留意する。

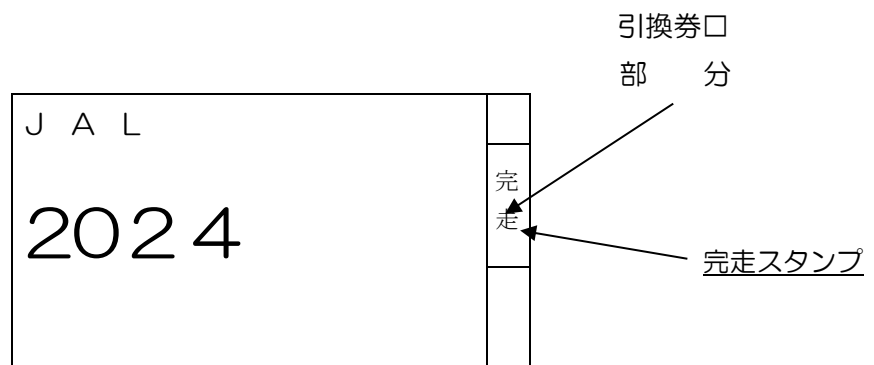
また、フル・17kmマラソン完走者のナンバーカードの完走Tシャツ引換券部分に完走のスタンプ（シャチハタ）を押す。

2 準備内容

- (1) 係員の掌握
- (2) 用具の受領、点検・確認

3 勤務要領

- (1) フィニッシュ給水係のチーフとよく連携し、ランナーをRCチップ取外しからフィニッシュ給水所へとスムーズに流れるように誘導する。
- (2) フル・17kmマラソンの完走者ナンバーカード「完走Tシャツ引換券」部分に「完走」のスタンプを押印する。これは完走賞（Tシャツ）交換の条件となるので、チェックもれがないよう十分注意して行う。



引換券部分が破れたり、付いてない場合は、他の余白に押印

※1 オーバータイム者のフィニッシュエリア進入を阻止する。

※2 「タオル」のチェック欄を設けているので間違っても押さない様十分注意する。

4 管理事項

- (1) チーフは係員を掌握後、「会場用具係」から必要資材及び昼食を受領する。
- (2) 長時間の勤務となるので、チーフは予め人員を3班程度編成し、適宜交代で休憩を取らせながら勤務する。（休憩所：フィニッシュ給水テント兼務）但し、混雑時等は全力で対処する。
- (3) チップ取り外しをフィニッシュ給水係と連携して行いう。